

第5回日本ヘルスケアダイバーシティ学会 『次世代医療人のダイバーシティ』

2021年11月3日(水・祝)10:00~16:00

オンライン参加 or 会場参加(大分)

《大分会場》J:COMホルトホール大分
大分県大分市金池南一丁目5番1号

当学会は、ヘルスケア分野におけるダイバーシティについての調査と研究を行い、ダイバーシティ経営を普及する目的で設立しました。今大会では、今後のヘルスケア業界の動向を抑える上で必要不可欠なSDGsや、様々な人材が能力を最大限発揮できる組織づくりのためのダイバーシティ経営について考えます。新型コロナウイルス感染症のパンデミックや、少子高齢化・労働人口減少時代においても適切に対応できる地域医療の体制づくりが求められています。激動の時代を生き抜く医療機関になるために必聴の内容です。当学会会員以外の方もぜひご参加下さい。

特別講演 「SDGsとヘルスケア」

馬奈木俊介氏(九州大学大学院工学研究院 主幹教授・都市研究センター長)

講師はSDGsの権威で多数の著書も手掛ける馬奈木俊介氏。いま、GDPよりも重視されている「新国富指標」。私たちとその先の世代が受け取る富を試算し真の豊かさを図る指標です。少子高齢化の中で日本が持続可能であるためには、健康資本への投資が最も重要と馬奈木氏は語ります。医療・介護従事者はもちろん、ヘルスケアビジネスに関わる企業や自治体・行政機関にとって必聴の特別講演です。



ランチョンセミナー

「ダイバーシティに対応できるコミュニケーション能力」

石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)

医療経営セミナーの人気講師石井富美氏が、ダイバーシティに対応するためのコミュニケーションについて話します。双方の感じ方や理解の違いを意識したコミュニケーション力を身に着けるには、フレーム(ものの見方の枠組み)の違いを認識することが必要です。医療介護従事者の多くは、それぞれに高い専門性を持ち、価値観や倫理観の違いがあります。ヘルスケア領域でのフレームの違いを具体的に考え、ダイバーシティ経営と盤石な組織づくりに必要なコミュニケーション能力についてお話します。



シンポジウム「次世代につながる医療人のダイバーシティ」



座長: 松浦恵子氏

(大分大学副学長(ダイバーシティ担当)
第5回日本ヘルスケアダイバーシティ学会大会長)

シンポジストを務めるのは、大分大学医学部附属病院で「男性医療人パパの会ペンギンズ」を立ち上げた医師の田中健氏、「女性医師交流会」や、医学生と女性医師が交流する「キャリアパス相談会」を開催し女性医師キャリア支援に注力する医師の立山香織氏。社会医療法人敬和会より、自身も中国人で、法人と外国人職員の調整役を務める唐莉氏と、看護師の佐藤圭祐氏。

今医療・介護を担う私たちと、次世代の医療を担う若い人材が、安心して個々の能力を発揮できるヘルスケア業界にするために必要なことは何か? それぞれの当事者の視点で議論します。

《シンポジスト》

田中健氏(医師・大分大学医学部附属病院女性医療人キャリア支援センター副センター長)

立山香織氏(医師・大分大学医学部附属病院女性医療人キャリア支援センター副センター長)

佐藤圭祐氏(社会医療法人敬和会大分岡病院看護師)

唐莉氏(社会医療法人敬和会豊寿苑事務)

お申し込み方法 QRコードよりお申し込みください

●参加費 日本ヘルスケアダイバーシティ学会法人会員4,000円/事前5,000円/当日6,000円

《お問い合わせ》日本ヘルスケアダイバーシティ学会事務局(担当: 武石・小副川)

TEL097-522-3777

